

ともに消えていった。洞窟の中はもうもうと きみな叫び声があがり、 した。捜査に入った警官も殺されていた。 うと坑内に入り、坑夫の死んでいるのを発見 こった。若い技師の河村は原因をつきとめよ 河村は武装警官とともに坑内に入ると、ぶ 九州のある炭坑に、とつぜん出水事件がお 巨大な怪獣が落盤と

った卵の破片から、空とぶ怪物はプテラノド ジェット機の一倍半の超音速でとぶ怪物体を 大さに成長したものと思われた。 全長二百七十フィート体重百トンをこえる巨 は救出された河村の証言と洞窟からもちかえ レーダーでとらえた。古生物学者の柏木博士 しのような大せん風がまきおこった。 しまい、バサバサとはばたくと洞窟内にあら ちばしで怪獣を次々とついばんでのみ下して な生物が卵からかえったのである。巨大なく すさましいなき声が洞窟をふるわせる。巨大 湯気があがり、怪獣が無数にうごめいている いた飛竜の一種で、 巨大な円形の一部がビシッビシッとはじけ、 それから数日あと、福岡の航空司令部では 略称ラドンと断定した。中世紀にすんで その卵が地底でふ化し、

に阿蘇の火口にむかった。その時、 対策本部のスタッフは目撃者の河村ととも 火口にい



を救出にきた。もう一羽のラドンであった。 降下してくる大きな怪物が、 ら地上すれすれにはばたくラドン。ビルは倒 して、阿蘇山火口のすみかを攻げきする。次 おち入った。その時、 きさき、福岡市にあらわれた。きずつきなが だ。ようやくまい上ったラドンは西海橋をひ たラドンは海中に大津波をおこしてつっこん ット弾をうちこまれ、ついにバランスを失っ 大なつばさでたたき落されたが、 で一行は自動車もろともふきとばされてしま び立った。その衝撃波(ソーニック・ブーム) たラドンはものすごい突風をまきおこしてと た。航空自衛隊のジェット機はもろくも巨 対策本部は再びラドンが現われるのを予想 ガスタンクは火をはき、市内は大混乱に 空の一角からぐんぐん 傷ついたラドン 次々とロケ

> 出すが、ついに二羽ともすざましいよう岩の 流れに押し流されていった。 口は火の海となり、ラドンは洞窟内からとび 赤なよう岩が火ばしらをあげてふき出し、火 々とロケット弾がうちこまれた。突然、まっ

ラド

- ●体重・100トン
- ■翼長・270フィー
- ■出身地・阿蘇山

■特徴・中世紀(約2億年前)の怪獣で、 ルをもふきとばす。 幼虫をたべ成長した。音速で飛び、 水爆実験による地核変動と、 でなく、 鳥としては最大のもので、 衝擊波 上がり、卵がふ化し、メガヌロンの ノドン (飛竜)といい、空飛ぶ始祖 龍と同じハチュウ類で学名をプテラ (ソーニック・ブーム)でビ 水中にも住むことができる。 空中だけ 地熱が

スタッフ

特技監	音	撮	監	"	脚	原	製
	楽·······伊					作	
谷英	福部	田	多猪四	村	田	沼	中友
	昭	勇	郎	武			

■ キャスト

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
